

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
 プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

## がん化学療法レジメン登録票

レジメン名	PD
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	再発又は難治性の多発性骨髄腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	MM-15
登録日・更新日	2017年8月22日
削除日	
出典	Lancet Oncol. 2013.14 1055-1066
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ボマリストカブセル	1mg,2mg,3mg,4mg	4mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(内服)	1回/日	day1-21
No.2	レナデックス錠	4mg	40mg/body*	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(内服)	1回/日	day1、8、15、22

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能( ) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	-
計算後の投与量下限値	-

減量・中止基準	<p><b>【開始基準】</b>          ・好中球数<math>\geq 1,000/\mu\text{L}</math>、血小板数<math>\geq 30,000/\mu\text{L}</math>、<math>\text{Ccr} \geq 45\text{mL}/\text{min}</math>、<math>\text{Hb} \geq 8.0\text{g}/\text{dL}</math>、<math>\text{T-bil} &lt; 2.0\text{mg}/\text{dL}</math>、<math>\text{AST} &lt; 150\text{U}/\text{L}</math>、<math>\text{ALT} &lt; 100\text{IU}/\text{L}</math></p> <p><b>【中止・減量基準】</b>          Grade 3又は4の副作用(血小板減少又は好中球減少を除く)が発現した場合には、Grade 2以下に回復するまで本剤を休業し、再開は休業前の投与量から1mg減量すること。なお再開は、患者の状態に応じて判断すること。1mgに減量した後に再び副作用が発現した場合には、本剤の投与を中止すること。</p> <p>血小板数<math>&lt; 25,000/\mu\text{L}</math>  <math>50,000/\mu\text{L}</math>以上に回復するまで本剤を休業し、再開は休業前の投与量から1mg減量すること。再開した後に再び発現した場合も同様とし、1mgに減量した後に再び副作用が発現した場合には、本剤の投与を中止すること。</p> <p><math>\text{ANC} &lt; 500/\mu\text{L}</math>  <math>1,000/\mu\text{L}</math>以上に回復するまで本剤を休業し、再開は休業前の投与量から1mg減量すること。G-CSF製剤を使用していない場合には、使用について考慮すること。再開した後に再び発現した場合も同様とし、1mgに減量した後に再び副作用が発現した場合には、本剤の投与を中止すること。</p> <p>◆デキサメタゾンの用量調節の目安*</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>-</td><td>40mg</td></tr> <tr><td>1段階目</td><td>20mg</td></tr> <tr><td>2段階目</td><td>12mg</td></tr> <tr><td>3段階目</td><td>中止</td></tr> </table>	-	40mg	1段階目	20mg	2段階目	12mg	3段階目	中止
-	40mg								
1段階目	20mg								
2段階目	12mg								
3段階目	中止								
前投薬									
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レナリドミド及びボルテゾミブの治療歴がある患者に対して適応する。</li> <li>・76歳以上の患者では20mgへ減量を考慮する</li> <li>・深部静脈血栓症予防のアスピリン、抗凝固薬等を投与する。</li> <li>・感染症の予防として抗生剤(ST合剤等)を投与してもよい。</li> </ul> <p>*デキサメタゾンの用量調節の目安: Antonio Palumbo et al. Blood 2011;118:4519-4529 より一部改変</p>								

記入者	伊勢崎竜也
確認者	竹内 正美